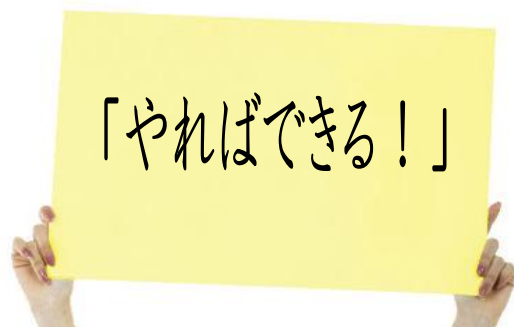




幸せな贈り物



やれば できますか?

挫折に追い込まれる F 単位の天才たち



「勉強しながら、はじめて夜を明かしてみました。(インターネット講義を) 1 分聞いて停止したあと、また書き取る形で勉強しました。そうするうちに、1 時間あたりの授業を聞くのに 7 時間以上かかったりもしました。他の人々は微分積分を当然のように解くのに、私はそのような答えが出てこなかったのです。そのようなところで差をたくさん感じました」釜山地域のある専門学校の出身で昨年、学校長推薦入学者選考を通してカリスト(KAIST)に入学して数回、マスコミに報道されるほど話題を集めた学生が、8 日に入学して 1 年で自ら命を断ちました。カリストに入学した専門学校出身の学生は 2007 学年度チ・スンウクさんに続き、チョさんが二番目です。チョさんは、2007 年国際ロボット・オリンピック韓国大会で大賞である科学技術部長官賞を受けたのに続いて、2008 年には国際ロボット・オリンピック

ド世界大会で 3 等になるなど、小学校 2 年の時からロボット腕自慢大会に 60 回あまり参加して「ロボット博士」と呼ばれていました。人文系高校に通っていたのですが、ロボットを専門的に研究したいという考えで、ロボット機能専門学校に転校までしたくらい、この分野に多くの情熱を持っていました。チョさんのお父さんは警察で「それほど苦しかったとは知らなかった。(KAIST に入学したのが) とても無理だったようだ」と話しました。学校関係者は「チョさんの両親は、息子が学業に困難を訴えたので、辞退や休学を薦めたのですが、チョさんはロボット研究に対する情熱が大きかったうえに、自分が適応に失敗すれば、専門学校生たちの入学が難しくなるという負担を感じたのだと思う」と伝えました。

大学ごとに推薦入学制選考、専門学校特別選考、農漁村特別選考などを通して、成績中心でない多様な特技の適正を持った学生たちを選ぶ選考を増やしているのですが、学業について行くことができなくて困難を経験する学生たちが少なくないと言われています。ソウルの A 大学が 2008 学年度に入学した学生たちの 3 学年 1 学期までの学業現況を調べた結果、一般高校出身の平均の単位が 4.5 点満点で 3.18 点であったのに比べて、専門学校出身の平均は 2.67 点、特に専門学校出身の休学生は 2.50 点でさらに低かったのです。また他の上位圏大学の関係者は「専門学校出身の学生たちは工学、数学の科目で 50%以上、

工学基礎物理では90%以上がF単位をとっている」と話しました。

はたして、人間の幸せも成功も、すればできるのでしょうか。ある人は、このように話したりもします。「すればできるのではなく、できることをすべきだ」と。

できる道があります

誠実にすればできるのでしょうか。誠実に最善をつくして生きてきたひとりの人がいました。両親から譲り受けた財産はまったくなく、自分の努力で底辺からはじめて、休むことなく走り続け、ある程度安定した基盤を成すようになったのですが、ある日、健康の問題がきて、それ以上、働くことも自分のからだを自分で責任を負うこともできなくなったのです。「このようになるために、いままで前だけ見て我を忘れて走っていたのではないのに…」どうしようもなく、多くの考えが頭を押さえつけてきて、痛いからだをより一層苦しくさせます。誠実に生きれば良いのでしょうか。だれもが認めるしかないほど人が良くて正しく生きている人がいました。自分や家族が余裕をもって生活できる状態ではなかったのに、それとは関係なく、一人暮らしの老人や両親のいない子どもたちをお金や物質だけでなく、息子のように、叔父のように仕えてめんどろをみる人間味あふれる愛の持ち主でした。ところが、ある日ひき逃げ事故に遭って、一人しかいない息子が一瞬にして意識不明の状態に陥るようになり、本人も脊椎をひどく損傷したので、歩けるのか疑われるそのような状態になったのです。その人を知っているすべての人が心を痛み、悲しみました。口を硬く閉じていたのですが、その人の心にも、どうしようもない考えが押し寄せてきたのでした。「私が何をどのように間違っただということなのか…欲もなく、心から困難な隣人を世話して、恥ずかしくなく生きようと努力してきたのに…」

私たちの周囲で一回ぐらいいは聞いたことがある、そのような話です。人生が努力したとおり、苦労したとおり、施したとおり、決心したとおり、数学の公式のように正確に計算できて予測可能であることだけ起きれば良いのですが、そうではないというこ

とは、だれもが認めるしかない現実です。

熱心に誠実に生きるということ、正しく誠実に生きること、たがいに信じて仕えあって生きるということ、夢に向かって挑戦しながら努力することなどは、人生を幸せに生きていくことにおいて常識で、基本であり、普遍的なことであって、真の幸せを保障する解答ではありません。それが良いことではあるのですが、聖書で語る人生の根本問題である神様を離れた問題や罪の問題、サタンがあたえる霊的問題を解決することはできないためです。それでそのように熱心に生きたのに、ある日、やってくる呪いと災いを防ぐことができないのです。だれも解決できないこの問題を解決するために、神様は一つの道を人間に開いてくださいました。その唯一の道が、まさにイエス・キリストです。罪がないイエス様が十字架で死んで復活されることによって、神様を離れた私たちが神様に会う道を開いてくださり、私たちが解決できない罪をすべて赦してくださり、サタン、悪魔の権威を完全に打ち砕いて勝利され、私たちのキリストになって、救い主になられたのです。

だれでもこのイエス・キリストを自分の救い主と信じて受け入れれば、神様の子どもになって運命と生年月日による運勢から出るようになります。このイエス様を私のキリストとして、私の主人として信じて受け入れるとき、運命が変わるようになって、世の中の何によっても得ることができなかった真の幸せが始まるのです。これがまさに神様が私たちにくださった真の成功の道、真の幸せの道です。人生はすればできるのではなく、できる道に立たなければなりません。この驚くべき救いの祝福の中に今、みなさまを招待します。「主イエスを信じれば救われます。あなたは大切な人です」

盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。

わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。

(ヨハネの福音書 10:10)

小さな実践は 奇跡を起こします

5千万円メモ一枚

中島孝志が書いた「巨万の富をつかむメモの技術」という本を見れば「一片のメモに付いた値段が5千万円！」という文章が出てきます。アメリカの鉄鋼企業ベツレームスチールの社長であるチャールズ・シュワブが、ある経営コンサルタントに尋ねました。その質問は、チャールズ・シュワブの会社を世界第1位の企業に引き上げたと同時に、シュワブを世界一の金持ちにしたのですが、当時には二人ともまさかそこまでするとは夢にも思ってもいませんでした。次はコンサルタントとシュワブの対話です。「ここに紙一枚があります。毎日、必ずすべきことをここに六個ずつメモしてください」「次はそれぞれ仕事の重要度により番号を付けます」「その次に紙をポケットの中に入れてください。明日一番はじめにしなければならないことは①番です。まずそのことをみなしたら、次に②番、そして③、④番の順にしてください。一日が終る時まですべてしてしまうように努力すべきです。しかし、結果的に1、2個しかできなかったとしても、くやしくする必要はありません。とにかく、その日、最も重要なことをしたためです」「重要なのは、毎日、着実にすることです。どんなことが重要なのかを基準にして優先順位を付けます。手帳にメモしたあとには、どんなことをしても片づけます。この方法を社員にもさせてください。万一この方法が効果があると認めるなら、その時になって妥当な費用を支払ってください」何週間かのち、シュワブはコンサルタントに感謝の手紙を送りました。その上、なんと2万5千ドルもなる小切手を同封したのです。すべての社員にこの方法を知らせた結果、この会社は世界最大の鉄鋼会社になりました。

成功者の共通点 聖書を見ると、このような小さい実践がもたらした奇跡の主人公が多くいます。ヨセフはエジプトという国に奴隷で売られて行ったのですが、エジプトを治める総理になりました。モーセは生まれるやいなや、やむをえず、エジプトの養子として入ったのですが、イスラエル民族をエジプトの奴隷生活から解放する最高の指導者になりました。ダビデは、羊を飼う羊飼いで始めたのですが、イスラエル最高の王になりました。ダニエルは捕虜として捕えられて、無理に勉強するようになったのですが、バビロンの王に三代にわたって仕える総理になりました。パウロは弱い病気のからだを持っていたのですが、行く所ごとに弟子を立てる小さな実践でローマを征服しました。彼らには共通点が2つがあります。一つ目は、神様とともにいた人々でした。ダビデは「神様が私の羊飼いなので、私は乏しいことはありません」と告白しました。ヨセフは「神様が私とともにおられたので、幸運な者になった」と告白しました。そして、自分にどんなことが与えられても、そのことに最高の実践をしました。小さいひび割れから大きいダムが崩れるように、奇跡は小さい信仰の実践から始まるのです。小さい実践は、奇跡を起こします。

じょうずな仕事をする人を見たことがあるか。その人は王の前には立つが、身分の卑しい人の前には立たない。(箴言 22:29)

神様の子どもになる

受け入れの祈り

愛の父なる神様。
私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンの支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス・キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放してください。キリストであると信じます。いま、私の中に入って来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子ども

毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

数の大きさと福音の値段

私たちが普通使う数の表示をアラビア数字と言う。しかし事實は、その数字はインドの人々が使っていたものをアラビア商人が貿易をしながら習って、ヨーロッパに伝えたのだという。アラビアの人々がこの数はインドのものだと話さないで、またヨーロッパの人々もこれどこで習ったかと尋ねないで、単にアラビアの人々が商いながら計算しやすく使うので、人々がアラビア数字と呼ぶようになったということだ。

数の大きさを表わすとき、一は10の0乗、十は10の1乗、百は10の2乗、千は10の3乗、万は10の4乗、このようにうしろの位置に0がつくようになるとき、1乗ずつつくようになる。それで、億は10の8乗、兆は10の12乗で、次は京、垓(ガイ)、ジヨ(禾に予)、穰(ジョウ)、溝(コウ)、澗(カン)、正(セイ)、載(サイ)、極(ゴク)、恒河沙(ゴウガシャ)であるが、恒河はインドのガンジス川をいう。したがって恒河沙は、ガンジス川の砂粒にたとえた数で、阿僧祇(アソウギ)はサンスクリット語「asanga」を音訳したことばで、次は那由他(ナユタ)、それから不可思議(フカシギ)であるが、これは本来、仏教の言葉の表現で、心では考えられない幽玄な道理、または教えを意味して、言語で表現できない驚くべき状態を称したりもするが、10の64乗で、最後に無量大数は無量数とも言われ10の68乗である。結局、人間が考えるものすごい大きさと質量で数を考えてとしても、結局、数には終わりがあるはずだ。創造の範囲の下で数を数えるしかないためだ。

このように数をもって話すようになったので、人間が数えることができるすべての数を動員して私の問題と接合させてみれば、それこそ驚くべき質と量の大きさになるだろう。それだけではなく、地球上のすべての人間のすべての問題をみんな合わせて計算すれば、想像することができない大きさの数字が出てくるだろう。その問題と恐れの大きさは、現在、地球を驚かせていることの大部分になっている。しかし、結局、終わりがある数を無力化させることができるのだが、それは無限大として記号は ∞ だ。結局、無量大数の無量大数を無量大数ぐらい合わせて、無

量大数を計算しても、それを分ければ何もない状態となる。

これを福音にあてはめて説明したら、人間が持っているすべての呪いと災いと苦痛と問題がいくら大きくても、福音の無限大であるキリストの中に入りさえすれば、そのすべてのことは無いのと同じ状態になるのだ。それで、信仰の人は幼稚だと見られても「ただ信仰」と言うのだ。それだけではなく、救われた者が持っている小さい価値でも、無限大の神



イラスト
シン・チョンウン

様が、その価値を無限大に祝福されれば、その価値がいくら小さくても、無限大の中で、驚くべき価値を成し遂げるのだ。事実的でない姿勢で悪霊にだまされる問題を私たちの生活に受け入れれば、終わりが無い苦しみが理由なく迫ってくる。単純な数を通して神様は福音を分かるようにくださっているのに、数えることができる苦しみで涙を流しせずに、無限大の祝福に導く福音の場で、数えることができない恵みを味わうことを待ちわびている。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまでどうぞ